

箕面駅周辺整備実施設計業務

懇話会資料

[建築施設編]



2010年5月

(1) ガレリア

コンセプト

観光の拠点となる駅には「観光情緒」が求められます。
例えるなら「温泉街の湯煙」の様な。イメージを彷彿とさせる要素です。
それには地域が行う「まちづくり」と「おもてなし」が求められます。
その事から街と人との繋ぐ場所が創られ、人と人を繋ぐ「コミュニティ」が生まれます。

役割

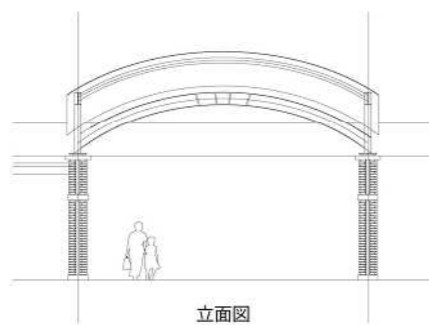
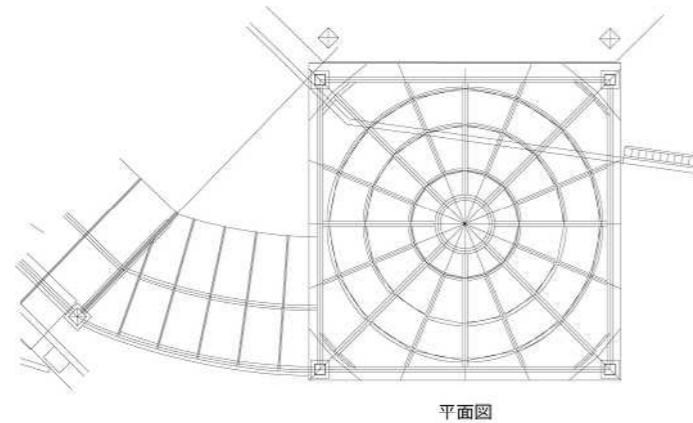
- ・ 人の溜まることの出来る旅の拠点としての位置づけ。
- ・ 鉄道および各交通機関との接点。および滝道を含めた周辺地域との接点。
- ・ 滝道だけではなく、本通り商店街への誘導とアシスト。

構成

- ・ 平面形状は正方形で柱とガラス屋根のみで構成。
- ・ 阪急駅舎から直接ガレリアへアクセス出来る配置でシェルターと連結。

構成要素

- ・ 「おもてなし」の為に屋根のある溜まり場として、ガラス屋根による開放感のある空間とする。
- ・ 明治風のテイストとして明治風のデコレーションを施した柱。



ガレリアのイメージ



(2) シェルター

コンセプト

観光の拠点となる駅には「観光情緒」が求められます。
例えるなら「温泉街の湯煙」の様な。イメージを彷彿とさせる要素です。
それには地域が行う「まちづくり」と「おもてなし」が求められます。
その事から街と人々を繋ぐ場所が創られ、人と人を繋ぐ「コミュニティ」が生まれます。

役割

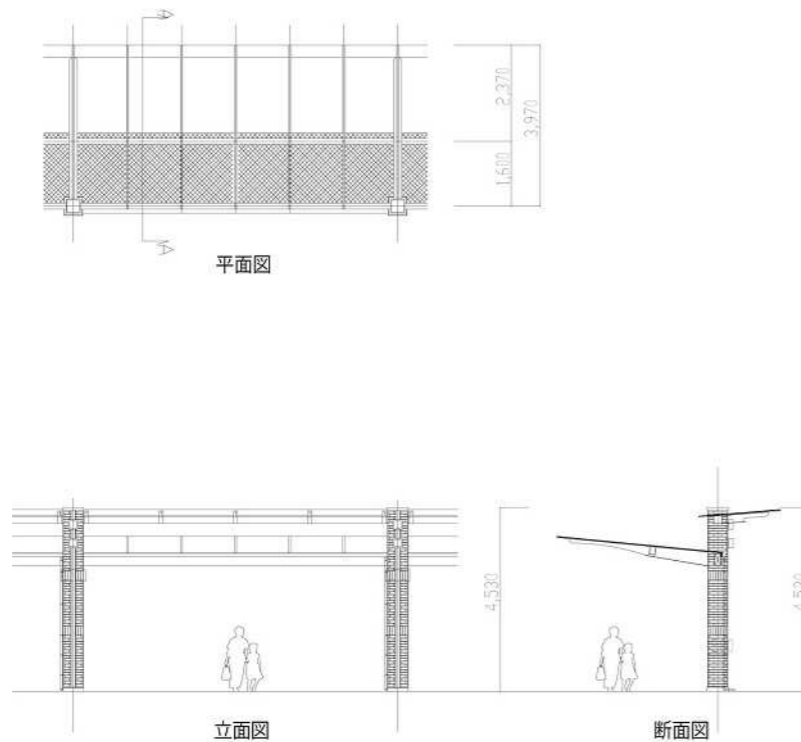
- ・ 阪急駅舎から本通り商店街までの屋根付通路。
- ・ バス、タクシーへの昇降場所。

構成

- ・ 方持ち梁による屋根。
- ・ ガレリアから直接シェルターへアクセスし、既存アーケードまでへの配置。

構成要素

- ・ 現状のシェルターは影が強く出すぎる為、暗く重たいイメージがある。ガラス屋根とする事で開放的な明るい空間を作る。また、ガレリアとのデザインとも一体としている。
- ・ 情緒ある空間の創造、また日光による不快感緩和の為「木漏れ日」を創出する。ガラス屋根の下に紅葉の意匠パネルを設置して木漏れ日を創出する。
- ・ 明治風のテイストとして、レンガ調の柱で配列。その配列により、駅前にリズム感を出す。



シェルターのイメージ



(3) ウェルカムゲート

コンセプト

観光の拠点となる駅には「観光情緒」が求められます。
例えるなら「温泉街の湯煙」の様な。イメージを彷彿とさせる要素です。
それには地域が行う「まちづくり」と「おもてなし」が求められます。
その事から街と人とを繋ぐ場所が創られ、人と人を繋ぐ「コミュニティ」が生まれます。

役割

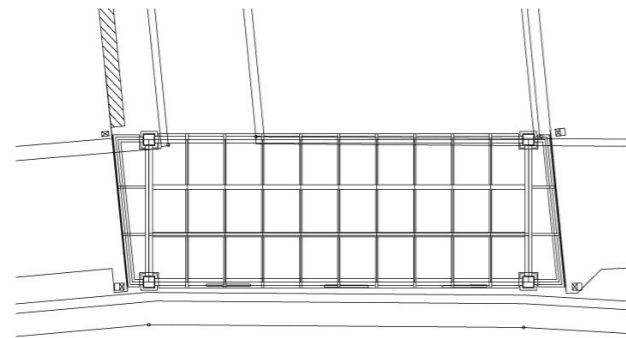
- ・ 観光客及び箕面市民への、本通り商店街のアピール。
- ・ サンプラザ1号館と2号館の連結通路。

構成

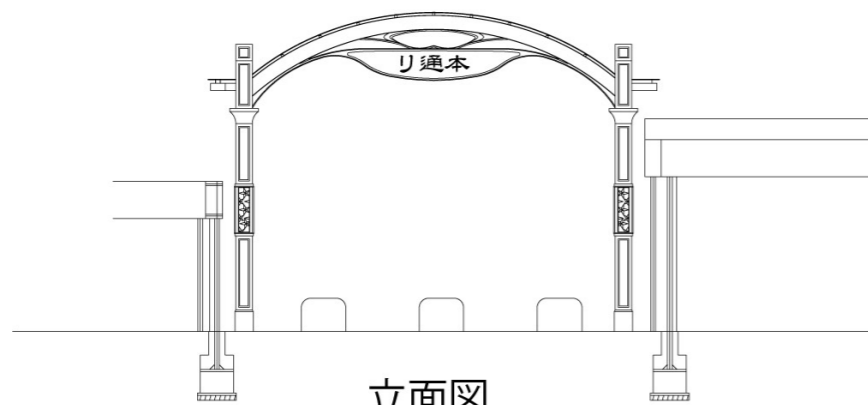
- ・ 4本柱と屋根による構成。
- ・ サンプラザ1号館、2号館の間、本通り商店街の入り口に配置。

構成要素

- ・ 現況の商店街ゲートは、滝道の方角から目立たず本通り商店街の確認が難しい。商店街ゲートとして目立つように高さを高くしている。
- ・ 商店街の文字も大きくしている。



平面図



立面図

ウェルカムゲートのイメージ

